

共榮圈内の經濟開發と交通 (中)

H T 生

本號では泰國の鐵道及道路其他の交通問題に移ることにするが、この泰國は昨年十二月八日に大東亞戰爭勃發すると、欣然皇軍の泰國領通過を許容し、ついで同月二十一日に日泰兩國間に攻守同盟の成立を見たので同日から既に泰國が英米の壓政に抗して敢然立つて、大東亞開放の聖戰に積極的に參加すべきことは單に時期の問題であつたが、本年の一月二十五日に果然英米兩國に對して宣戰を希告し帝國と相携へて挺身することゝなつたのである、この宣戰布告のあつた日の首都バンコックの光景について傳ふるところによると。

この日の午後二時半バンコックラジオは重大發表がある旨を告げたあとしばらくの間は國歌放送を行つてゐたが

續いてヴィジツト外務次官は感激に満ちた聲で英米に對する宣戰を布告した旨を述べついで泰國の歴史的な布告全文を朗讀したのであつたが、この日は丁度日曜日であつたので街の道路の側や道路の角々に市民は集まつて、自國の高射砲が前夜空襲して來た英國機を撃墜した話で持ち切りのところに突然ラジオが重大發表を告げたので人々は何事ならんと道路を歩いてゐる人々も又道路上で知人とあつて何事か話合つて居た人々もラジオのある所々に集つよつてラジオに耳をそば立て又家庭に居る人々も聞いてゐたが、マイクから宣戰布告が流れ出ると、その瞬間に男も女も聞くもの總てが忽ちに緊張、朗讀が終ると到るところの人の群から突如「チャイヨー」萬才と

叫ぶ聲が道路の真中と云はず家の内からと云はずどこからとも、からも到るところから擧がつて、この聲が次第に擴がり遂に「チャイヨー」の聲は巷一ぱいにあふれて日本人と見れば必ず「オメデトウ」と云ふ陽氣な風景が泰國首都に展開されたのであつた。

バンコック市内の寺院といふ總ての寺院は流石に佛教國だけあつて早くも戰勝祈願の善男善女は參拜のために道路は引もきらず列をなして通ふてゐる。又道路のあちらこちらには往來の人々が集まつて東亞のための東亞建設を我々の手で戰ひとるのでとバンコックの民衆は誰れも彼れも喜びと緊張で語り合つて何時とも異つた相貌を呈してゐる、バンコック驛やその前の道路には其後連日應召兵の歡送で非常に雜鬧を呈してゐるが大人も子供も應召兵と見れば道路上であらうが其他どこでも所をかまわず握手して喜びをわかち聲援を與へてゐる。

このことであるが、この泰國が日本を指導とする共榮團建設に邁進してゐることは東亞民族を英米の搾取から解決し

て相共に共存共榮のために起つたことはビーン首相等の指導者達の時局の將來を洞察する達識と英邁の然らしむるところであることは云ふまでもないところである。我國と相提携するところの泰國その國の交通問題と相關連する産業と資源の關係を觀察すると。

泰國は面積に於て千九百四十一年に泰佛印紛争で日本の調停によつて、佛印の讓渡領土七萬平方料を加へて五十萬三千平方料となつてゐる。人口の方はこれ亦佛印讓渡領の人口を加へて千四百六十六萬四千四百八十九人「泰國調査」となつてゐる。地勢は大體に於て北、中部東北、南の四部に分つことが出來て、北部地方はメナン河上流の山岳地帯、中部は豐饒なる平野とシヤム灣の東海岸を含む米の産地である。東北部は大高原地帯で林産資源に富んでゐるが、南部は鑛産資源特に錫が豊富である、また農業では米に次いでゴム、煙草、豆、玉蜀黍棉花等が出來るが林業ではチーク材は世界木材界の王座を占めて居り、更に鑛業では錫を始め銅、鐵、亜鉛、鉛

石炭、アンチモニー、マンガン、磁土、石棉、寶石類を産するが特に寶石中サファイヤは良質で世界的に有名である。

要するに、我國と新東亞の建設に協力を誓つた泰國は現在のところでは米、ゴム、錫、チークの四大産業を以てこの國の主要産業となつてゐる、殊に農業は泰國の代表的な産業であつて、彼の千九百三十二年の立憲革命によつて政治的外形は近代國家として整備されるようになったが經濟及び産業機構の改革はなか／＼容易には出来ないもので云はばまだ幼稚の域を脱してゐない、従つて農業は現在に於ても泰國の財政經濟の根幹をなしてゐる、これを泰國の貿易に於て見ると輸出貿易において農産物の占める割合は絶對多數で米だけでも約五割に及んでゐる、そうして農民は全有業者人口の約八割を占めてゐる有様である。そうして國內交通も總て農産物輸送に關聯して成立してゐるが、商業も亦米を中心として營まれてゐる現状にある、故に現在の泰國の交通問題も鐵道なり、道路なり其他凡てはこれに關聯し

て觀察するの要がある。

緒て泰國の最初の鐵道は首都バンコックからメーナム、チャオ、プラーヤーの河口バクナムに至る僅かに二十一杆の私營鐵道であつてこれが千八百九十一年に起工して、三年後の同九十三年に開通したが同三十六年に政府が買收して現在では唯一の電化線である、更にこれと時を同じうして政府はバンコックからアヌターヤを経て、ナコン・ラジャシマーに至る約九十八杆の鐵道建設に着手して千九百一年に完成してゐる、全體泰國の鐵道網は首都バンコックを中心として北東、北、南へと擴張して現在の總延長は約三千百二十杆に達してゐるが、もと／＼この國の國有鐵道は最初北東及び北部地方から建設に着手したのである、夫れは泰國それ自身の特有なる政治的の事情に依つてゐる、當時佛印を根據とする佛國の侵略政策に對抗せんとする軍事上の意圖が多分に含まれてゐるからであるが南部線も亦同様に政治的軍事的な色彩を多く持つてゐる、佛國の侵略政策に拮抗して泰國を自己の植民地化せんとする英國の野望

がこの原因をなしてゐる、更れば獨立國ではあるが、この國に於ける鐵道は産業文化の開發に資せんとするよりは寧ろ裏面に於て操つてゐる英國の政策が過去に於ては濃厚に働いてゐたことに依るのであつた。今これ等の鐵道について見ると。

北東鐵道線であるバンコック、アユタヤ、……ナコン、ラジャシマ間は英國會社の請負工事として千八百九十一年に建設が始まつたものであるが其後泰國政府の直營事業として計畫の進展を計つて約十ヶ年の歳月を闊みして漸く千九百一年に全線の竣工を見たが更に千九百二十九年ヴアリンドラ迄延長し次いでタノン・セラに於て分岐しノーン・カイ及びナマーン・パームに至る線路を起工して千九百三十二年コーン・ケイまで竣工したのであつた。又バンコック……アラン・プラテート線は千九百八一年に起工して、ペトリユーに達した時にその工事は中止となつたか、其後千九百二十六年にククピンブリを経て佛印國境のアラン・プラデートに達したが、これは佛印

のフノンベン・モンコルポリ線のモンコルポリ驛を離ること約五十一軒の地點である。

北部線はバン・パーチ……イチェンマイ間は千九百一年ロブブリーまで約四十軒は未完成となつてゐたが、千九百十六年に至つて工事を再開したのである。然るに第一次世界大戰に遭遇して建設資材等の不足は著しく且山岳地帯の難嶮と惡疫の流行猖蹶を極めて工事は豫定通りに進行せずために同二十二年に至つて漸く全線が完成開通したと云ふ状態であつた。

而してこれ等の諸線は何れもその計畫豫定を屢々變更し又一時工事を中止したために完成期に多大の遅延を見たのであるが、この原因は泰國が佛蘭西の壓迫に對抗することが出来ずして、千九百四年に遂にメコン河の西岸ルアン・ブラパン地方等廣汎なる領域を抛棄せねばならなかつた事に基くのと。

こゝで一吋附記して置くが、千九百四年に泰國が佛國に己むを得ず割讓させられた廣汎なる領域は昭和十六年三

月十六日に、佛國は千九百四年二月十三日の佛蘭西國シヤム國間協約第二條に定められたるバクライ並にバツタンバン・プルサツト兩洲の洲境以北、シエムレアブ・バツタンハン兩洲境の南端グラン・ラツ湖に接する地點より經度線に沿い東向シメコン河に達する線以北のメコン河右岸の土地を泰國に割譲す又泰國政府はルアン・プラン對岸三角地帯に於けるアン・プラバン王室御陵を尊敬しその保存參拜等に關し便宜を供與す。其他二三條項を我國の調停によつて成立して泰國は曩に奪はれたる領域を取り戻したのである。

更にこれ等の鐵道建設費は泰國政府は自國の資本によつて賄つてゐたが工事の進捗と計畫の擴大に伴ふ經費の膨脹に加ふるに英國の壓迫によつて千九百三年に第一次英貨公債百萬磅を起してこれによつて費用を捻出した有様であつた。

南部鐵道線である馬來半島縱斷鐵道は千九百一年に起工開始して同十七年に竣工開通してゐるが、この線はバン

コック・ノイを起點として、バンホーンに出で南下してベチャブリを経てシヤム灣沿岸を走つて馬來聯邦との國境スンゲイ・ゴロックに走る線と同境バダグ・プシールに出る線とを有してゐる。

尙ほ泰國の私鐵の發達は極めて遅々たるものであつて、その總延長は僅かに百九十軒足らずである。而して同國鐵道諸線によつて輸送せられてゐる旅客貨物の割合を見ると、北東線鐵道及び北部鐵道の各線に於ては約四十%である。

南部鐵道線即ちマレー半島の縱斷線では約六十%となつてゐる。更に貨物の種類別を見ると總輸送貨物の三分の一は米であるから前記した如く米は如何に同國の主要産物であるかは判明することが出来るのである。次は木材の輸送である。又糶の輸送高年四十萬九千噸と云はれて居り木材は九萬五千噸と云はれてゐるがこの内約半分はナコン・ラヂシーマ及ウボンから積出されてゐる泰國の主要貨物である。尙こゝでもう一度掘下げて泰國の産業と經濟問題を検討すると、同國は現在に於ては米作偏重の單一農業であるこ

とは前記したやうな有様である。現に農産物中で壓倒的な地位を占めてゐる米は千九百三十九年度から同四十年には米の作物面積は三百十八萬九千ヘクタールとなつて居り主要農産物八種類の合計植付面積の九割八分を占めて居る位である。依つて参考のために主要農産物の作付面積及び生産高を見ると。

泰國の農産物作付面積		生産高	
米	二〇、三六、三「千ライ」	五、三三〇「千ピククル」	
玉蜀黍	三八「千ライ」	七四「千ピククル」	
煙草	五五「千ライ」	一一六「千ピククル」	
棉	四三「千ライ」	八六「千ピククル」	
豆	二九「千ライ」	八一「千ピククル」	
胡椒	五「千ライ」	一一「千ピククル」	
胡椒	七「千ライ」	三「千ピククル」	

となつてゐる。而して米に付いて我國の産額と比較するとその植付面積に於ては約八割に相當するも産額は三分の一に過ぎない有様である、こゝに同國は米作改良の餘地が將來多分に存してゐる。泰國は米の收穫高の五割以上が輸出

に振り向けられて輸出品中の第一位を占めて居るが、千九百四十年度に於ける同國政府の調査に依ると米の收穫高は五千六百六十五萬ピククルにしてこの内三千百五十萬三千ピククルを輸出して居る位である。この國の棉花は非常に古い栽培の歴史を有して一時は國內の需要を充してなほ、支那ビルマ等にも輸出した程であつたが、その後貿易の發達によつて良質の外國綿が入つて來てから自然衰微した有様であるが政府が近年棉作獎勵に乗出してから植付面積及び收穫高は飛躍的に増加したのである。即ち千九百三十七年度の棉植付面積は四萬三千ライその收穫高は八萬六千ピククルとなつてゐる。そうして泰國は全國的に棉花に好適の條件を具備してゐるので將來頗る有望視され共榮圈内の重要資源の一つとして期待されてゐる。ゴムは半島南部地方である、ハーチャからスンガイゴロに至る鐵道の支線や道路に沿つて西南海岸地方に多く栽培されてゐる、その栽培面積は約九萬ライであるが千九百三十九年度の生産高は四千七百卅九萬ピククルとなつてゐる。而して千九百三十五年以降

は國產ゴム限産協定に加盟して年額四萬噸と限定されてゐる。

翻て林業の方面を觀察すると米は泰國の農業を代表してゐる。如くチーク材はこの國の林業を代表してゐる。泰國は中央の平原地帯を除くと殆んど全部は森林地帯と云つてよい程であるから樹木の種類もチーク、紫檀、黒檀、タガヤサン、ツゲ等の有用材も大變多いのである。然しながら現在ではチーク材が最も經濟上の重要性を占めてゐる。故に同國政府もその重要性に鑑みて森林局の管理の下に置いて伐材等に相當の制限を加へてゐるが、其他の材木についても森林保護法に依つて保護をしてゐる。更に鑛業方面を見ると、この國の鑛業は大體錫によつて代表されてゐる。一體この國の錫の資源は無盡藏と云はれてゐるが現在ではまだ完全なる調査が行はれて居ないために従つてその埋藏量も的確に判明してゐないが同國の鑛産物調査に依ると、千九百三十八年に於ける錫鑛石產出額は三十六萬五千九百ピクル内金屬含有量は二十六萬三千四百七十七ピクルとなつて

居り又その輸出高は三十六萬八千二百ピクルとなつてゐる而して泰國では年々二萬噸位の錫鑛石を產出してゐるがまだ可なりの生産餘力があるやうである。そうして現在の産地は半島部の南部に限られてゐるも北部地方のチェンライ及びランバーンの各縣では既成鑛區よりも寧ろ新鑛區に注目してゐる。殊にビケツト島は全島悉く錫鑛と云はれて全く同國の寶島である。その外に東海岸方面にラジャプリーバンクハン、ランズアン、バンドン、ラコン、パタニー、カランタン、トリンガヌ地方の鑛區がある。これ等の地方には幅十メートル内外の運搬用道路が通じてゐるが決してよい方ではない。

元來泰國の錫鑛石採掘は既に今から約四百五十年前十五世紀の頃から華僑の手によつて極めて幼稚な方法によつて採掘せられてゐたが、その後英國の勢力が漸次この國に浸透するに従つて生産方法も舊生産方法から浚渫法による大量生産法を採用して漸次新式となつて來たのである。しかしながら現在でもなほ舊式採鑛法がかなり廣範圍に行は

れてゐる。更に錫鑛石採掘權及び投資關係は全錫鑛鑛山の約七割乃至七割五分は英國の資本下にありて殘餘の二割五分乃至三割が華僑及び泰國人の經營下であつた。これを見ても英國は如何に泰國の鑛業界に侵入してゐるか窺はれるのである。又金はこの國では錫についての重要鑛産資源

であるが、その産出額は百萬バーツ位の程度である、その他に銅、鐵、亜鉛、石炭、アンチモニー、マンガ、ルビ、サファイア等を産し又有ゆる種類の鑛産資源は埋藏してゐると推定されてゐるがこれ等は東亞共榮圈の確立に伴うて漸次定確なる調査研究の上、我國の優秀なる技術に依つて將來は開發せられねばならぬものである、更に水産資源も泰國の國民經濟上見逃すことの出来ないものである。

漁業は農業に次ぐ重要基礎産業となつてゐるが詳細なることはこゝでは省略するが同國の魚類の輸出は新鮮魚及び鹽漬魚等は年額約二千萬バーツであり又罐詰類や高級食料魚類は年々約七十萬乃至百萬バーツをシンガポール、ベナン、香港等に輸出してゐる、而して同國の産業經濟界は英國の

勢力が甚だしく侵入して居り現に錫鑛業の如きチーク等の如き殆んど全部と云つて可なる位英國資本下に置かれてゐたのであるが、東亞戰爭の結果この状態は全く一變せらるであらう。

偕て現在及び將來共にこの國の産業開發と最も密接關係を保持する鐵道問題は前以て述べたが、道路問題に付いて觀察すると、泰國の道路は大體に於て國道と地方道に大別されてゐる。而して國道は更に一級二級三級道路及び車道馬道に分れてゐるが、千九百三十八年度に於ける同國々道の總延長は一、二、三級道路を加へて三千四百二十桿であるその内一級國道は百三十二桿、二級國道は百五十五桿、三級國道は三千百二十八桿となつてゐる。これに地方道路四百六十七桿を加へて同國の道路は三千八百八十七桿となつてゐる。今度は自動車數を見ると千九百三十九年度末に於て貨物自動車五千五百五十輛、バス七百七十輛、乗用車六千輛その他百四十五輛であつてこの合計は一萬二千六十五輛となつてゐるが、これを見ても頗る貧弱なものである、こ

に於て泰國政府は道路が國防上にも又經濟上にも殊に産業開發にも至大の關係あり又その重要性を帯びて居るのを認識して國防道路の建設と産業開發道路とに劃期的な道路網計畫を試みて、政府は千九百三十四年度に一億五千三百萬バートの豫算を以て道路網の完成を企圖して千九百三十六年度から十八年間に一萬五千軒の道路を建設する目標の下に劃期的なる道路網計畫を樹立したのであつた。これは當局者が同國の道路運輸が頗る未發達の區域を脱せず國防上はた又産業上頗る遺憾の點が多々あるのを認識した結果に外ならないのであつた。而して第一次五ヶ年計畫に於て三千萬バートを以て取敢へず三千八十六軒の道路の建設に着工して千九百三十八年に至つて千三十二軒の道路建設を見たのでつた。其後所期の計畫を實行すべくその進捗を計つてゐるが、時局の結果はこの計畫に多少の齟齬を來たすであらうが、兎に角これらの計畫が實現された上は泰國の道路はその粗末なる舊態を一新して新興國家としてふさはしい道路となつて將來は國防關係上はもとより同國の各

種産業開發と國民生活上大なる好影響を與へることは云ふまでもない、同國の産業と交通關係はこの外にも海運や河川運輸又は航空關係等もあるが、泰國を中心とする海運界の如きは同國は海岸線が僅かに二千百軒にして且つ良港に乏しく貿易港としてはメーナム河口を溯ること二十餘哩の河港であるバンコック港があるに過ぎず、又同國の海運界はこれまで英國船の勢力が根強く浸透してゐて同國自體の勢力が未だその伸張すべき餘地がなかつた位の有様であつた。併乍ら河川運輸は地理上及び氣候の自然的條件に反映して印度支那に於けると略ぼ同様に交通上重要な役割を果してゐる。即ち國內生産物の約八割は水路に依つて輸送されて居つて同國の民衆は近年まで水路以外の通路は知らなかりたときまで極言されてゐた位である。空輸關係においては泰國は千九百三十一年に泰航空運輸會社を創立して一般航空事業はこの會社にて管理することになつてゐるが經營航空路は國內航空と國際航空とに分られてゐる、殊に泰國の航空路は歐亞連絡の經由地としてその國際航空上その

占むる地位は重要である、彼の昭和十四年十一月に我國と泰國間の航空協定が成立して東京、臺北、ハノイ、ウドン、バンコック間に新に航空路が開かれてゐる。

東亞共榮圈確立に我國と相携へ以て協力してゐる同國の

産業經濟界と交通關係はかようであるが、今後は益々我國の科學技術方面を動員して泰國に援助誘導し以て一層同國内の交通網を整備し有無相通するの方針に基いて同國の各種産業開發に資するところが必要であらうと思はる。

トット博士の急逝獨逸の道路の生みの母

S S 生

最近ベルリン發の外電によると獨逸の軍需相トット博士が客月七日不慮の航空事故で逝去したと報じてヒットラー總統は博士生前の偉大なる功績に鑑みて特に國葬に附するやうに指令を發したとあるが、僭てトット博士とは如何なる人物乎……彼れは千八百九十一年に獨逸聯邦のバーデンのアフオルツハイムに生れて長じてミュンヘン及びカールスルーへの工業大學に入學して主として道路建設法を學んでゐる。前の世界大戰には獨逸の空軍に入隊して參戦したが千九百十八年のあの西部戦線の激戦で肩のこると其他二三ヶ所に負傷して後方に送りかへされて暫らくの間伯林や外一二ヶ所の病院で治療してゐた。千九百二十二年ヒットラーの演説を聞いてナチに入黨して黨務のために大に働くところがあつたがナチスの政權獲得ヒットラーに依つて獨逸の道路組織局が出来るとその長官に任命されて全獨逸の道路建設機關を一手に掌握して一萬キロ及び自動車道路を完成したことは有名な話である。他方博士はジークフリード線建設の命を受けてその工事を豫定通りに完成したことも亦有名なことである。そうして獨逸の西部國境の護りを泰山の安きに置いた功績によつて獨逸國家賞が博士に授けられた位である。博士はこれに次いで西部國境の防空施設をも完璧にした功勞によつて千九百三十八年には空軍大將に任命されたが更に軍需相、水利電長官の要職を兼ねて居た。今次の大戦に際しては所謂ヘット建設班が多數戦線に出勤して道路工作並に占領地再建の事業に當つてゐたことはこれ亦有名である。博士は頗る旅行と讀書を好んで常に餘暇さへあれば獨逸國內を見て廻り常に道路網の計畫等に着眼して居た博士はまた技術の優才を見出すのが頗る上手で自から技術學校や學生連の集合して居る場所に赴きで優秀なる人物を見付け出してこれを指導して重用するの獨逸の技術學生等は博士に見つけ出されんでも好んで面會もなし談話も取替すといふ風であつたから道路建設の際博士の觀察などは工夫は喜んでゐたことである。そうしていち／＼工夫の生活まで考慮を拂つて時にはその生活狀態を見がてらにその家まで訪ずれることも屢々あつた。まだ齡い五十二歳を以つて逝かれたことは獨逸國家のためにも惜かても餘りありと云ふことが出来る。